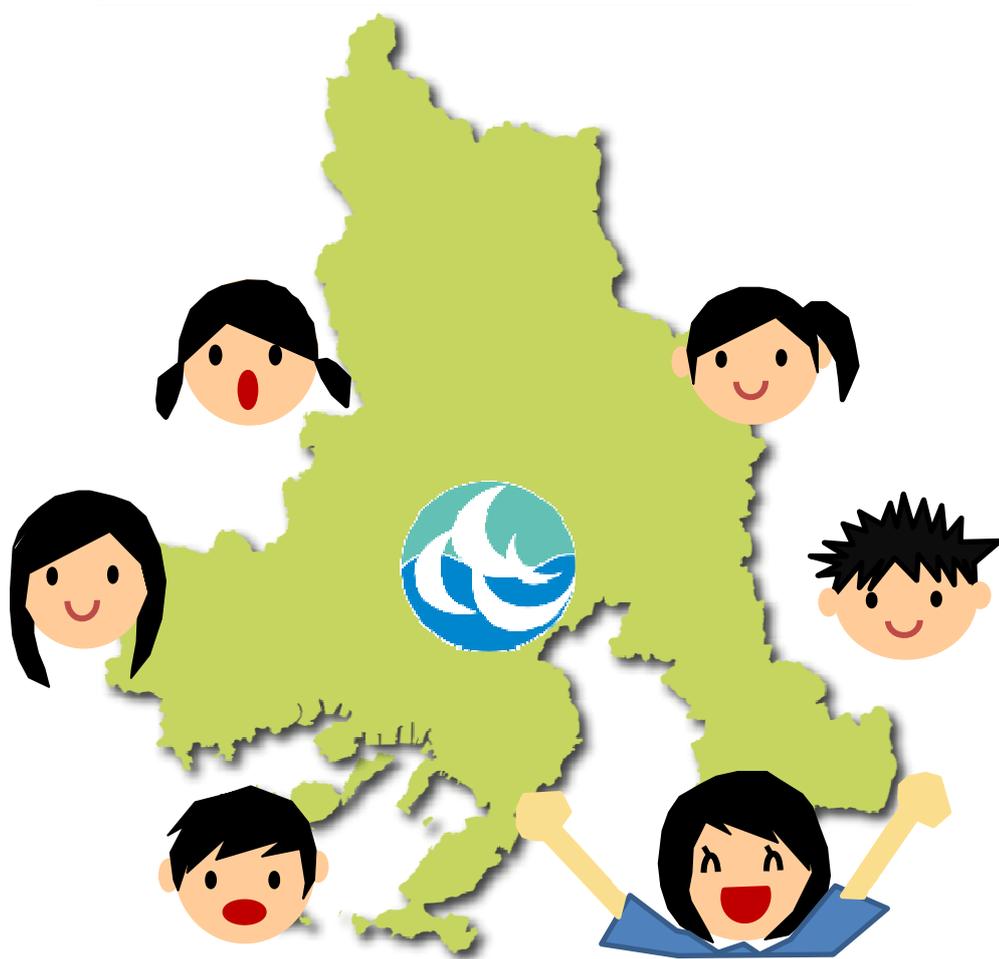


こども議会 提案・回答報告書



平成26年12月
周南市

～Dream Shunanチーム～



動物園に売店以外にも、カフェやペットショップをつくってはどうかでしょうか。

木村市長の答弁

カフェやペットショップがあるのは良い。猫カフェ・犬カフェ・蛇カフェがあっても面白いですね。リニューアル中なので、市民の皆さんに意見を聴いていきたいです。



経済産業部長の答弁

現在、売店では多くの食べ物を販売しています。カフェという雰囲気ではないので、リニューアル事業を進めるなかで、みなさんが行ってみたいと思うような売店やカフェの設置についても是非検討したいと思います。

【担当課：動物園より】

リニューアル事業のうち、南園の基本設計業務の中で検討していきます。



キモアニ（気持ち悪いアニマルの略）のようなイベントをもっと増やしてはどうでしょうか。

経済産業部長の答弁

10/4も無料開園し、母子保健推進協議会の方々が来園者に楽しんでもらえる様々な企画を実施しています。動物園は、「周南ふれんZOO」等のたくさんの団体や個人の方々に支援いただいています。「1年たったゾウフェスタ」など他にも色々と企画を行っており、今後の予定についてもホームページや広報で市民にお知らせしていきたいと考えています。

【担当課：動物園より】

今後も、徳山動物園ならではのイベントを効果的に実施し、魅力ある動物園を目指します。



動物にエサをあげるイベントをしたらどうでしょうか。また、そのようなイベントを増やしてはどうでしょうか。

経済産業部長の答弁

現在、ふれあい広場では、小動物にエサをあげるイベントをやっています。また、動物体験イベントとして、来園者が直接餌をあげられる「パクパクタイム」というイベントを行っているので、是非参加してください。

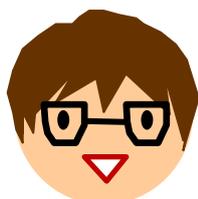
木村市長の答弁

動物園は見るだけでなく、体験も出来るところでなくてはならないと考えています。もっと動物とふれあえる動物園をつくっていききたいと思います。



【担当課：動物園より】

エサやりイベントの対象となる動物やエサの販売機を増やすことを検討中です。現在、平成27年度予算に計上し、予算の査定中です。



動物の鳴き声がうるさい、動物園の臭いがきついという問題があると思いますが、この点についてはどのように考えているのか教えてください。

木村市長の答弁

私は昔、動物園の近くに住んでいました。徳山動物園がまちの中にあることは、とても大きな意味があります。鳴き声は、夜眠れないほどのうるさくはないので、どこかで我慢しなければなりません。もちろん、可能な限り抑えていくつもりです。



経済産業部長の答弁

臭いの原因は、動物のふんです。肉食獣は、水洗で処理しているため臭いませんが、草食獣は、一時的に保管して処理するため臭いが発生します。今年から、ふんを再処理し、発酵させて堆肥化を行うための堆肥化プラントの導入を考えています。動物の鳴き声については、リニューアル事業の中で、樹を植えて鳴き声が外に広がらないように工夫するなどに対応したいと思います。

【担当課：動物園より】

臭いについては、堆肥化プラントの導入により改善される予定です。動物の鳴き声等の騒音は、リニューアル事業の中で工夫し、対応していきます。



いまの動物園にパンフレットがないので、パンフレットをつくってはどうでしょうか。

経済産業部長の答弁

スリランカゾウが周南市に来た時にパンフレットを新しく作り直しています。公共施設や観光案内所に設置しています。

木村市長の答弁

早速調査して、パンフレットがないなら補充する必要があります。
また、もっとわかりやすく、たくさんの方に来てもらえるようなパンフレット作りをしていきます。



【担当課：動物園より】

パンフレットの設置場所と設置状況の再確認を行い、欠品の無いように努めます。イベント等のチラシを効果的に作成し、配布していきます。



SL が展示してあるので、もっと宣伝してはどうでしょうか。

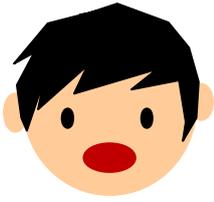
木村市長の答弁

動物園の前にあるSLの「でごいち」は笠戸島など県内のあちこちにあるため、SLだけで動物園の集客はできないと考えています。
しかし、SLが動物園にあるということは素晴らしいことなので、みなさんに観てもらえるように今後は更にPRしていきたいと思えます。



【動物園より】

リニューアル事業のうち、南園の基本設計の中で、SLの設置場所を含めた効果的な活用方法を検討していきます。



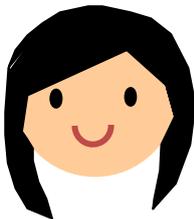
動物園の周りに花が少なくて寂しい印象を受けます。どうでしょうか。

経済産業部長の答弁

提案は、樹木ではなく観賞用の花がないため、景色に色合いが少ないということで理解しました。動物園の中にも花壇が作れるかどうか、地元の人とも協議したいと思います。四季折々の色が楽しめるような動物園にできるようにリニューアル事業の中でも検討していきます。

【担当課：動物園より】

今後も、四季折々の花が楽しめるように、環境整備に努めます。



「動物園の壁のぬりかえ」をしたいです。

経済産業部長の答弁

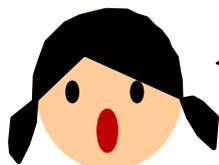
以前、市内の小学生や徳山大学の学生が絵を描いてくれた南側の壁も、解体を予定しています。リニューアル工事に入る前までの間、壁をどうするか検討しなくてはなりません。

また、現在動物園は、工事用の白いフェンスで囲まれていてとても殺風景なので、このフェンスに絵を描くなど何か出来ないか検討しているところです。現在、ご来園の方にも楽しんでもらえる企画を動物園長と協議中です。

【動物園より】

北園にあるリニューアル工事用のフェンスを、子ども達の絵で飾り付ける企画を準備中です。

～爆笑千一ム～



観光スポットをたくさん作って、周南市をPRし、人をたくさん呼んでほしいです。

木村市長の答弁

市が取り組まなければならないのは、交流人口（※定住人口：そのまちに住む人
交流人口：外からくる人）を増やすことです。観光スポットは、一朝一夕で出来るものではないため、努力をしながらつくっていきたいと考えています。

新しい駅ビルは、広島や九州からも人が集まってくるようなものにしたいです。

また、周南市は、交通の便がすごく良く、恵まれた交通網と施設が沢山あります。学会や大会を誘致し、来られた方には市内に泊まってもらって、お土産の購入や市内観光によってしっかりお金を使ってもらおうと考えています。



中心市街地整備部長の答弁

3年後には新しい駅ビルと図書館ができます。勉強や友達と一緒に過ごすこともできるような、カジュアルで、かしまらない場所にしたいと考えています。この図書館には、知名度と集客力のあるテナントが入り、図書館とブック・アンド・カフェが一体となった、近隣の都市圏にもない特長ある施設として整備する予定です。全国から人が集まる場所にするので、楽しみにしておいてください。

また、スタイリッシュで居心地の良い空間で統一された今までにない図書館とし、すべての市民の玄関口としても全国に誇れる新駅ビルを創る予定です。

地域振興部長の答弁

周南市の強みは、宿泊場所があることと新幹線（のぞみ）が停車し、交通の便が良いことです。現在、防府市と連携して観光誘致をしようと取組みを進めています。

また、地域に埋もれたままで自分達が気付いていない場所を、一つずつ市民と一緒にさがし、新たな観光スポットにしていく取組みを進めています。

【担当課：観光交流課より】

周南市には、「工場夜景」のように、視点を変えれば、面白いと思える場所や名所がまだまだ沢山あると考えています。

その地域の資源をみんなで探し出し、観光スポットとして巡るルート作りなどで、市内外から多くの観光客に来てもらい、地域に賑わいが生まれる取組みを進めていきます。



この市にはゴミが多いと思います。
例として、遠石小の県道の分離帯のゴミの数が多いと思います。原因は、雑草が多いためと考えます。分離帯の草刈り、放置したごみの回収を提案します。

建設部長の答弁

市内には、国が管理している国道、県が管理している県道、市が管理している市道があります。そのうち、国道は、国の職員がゴミを拾ったり草を刈ったりして管理しています。どこの道もきれいな方が良いでしょう。周南市から、管理者に是非きれいにしてほしいとお願いすることが重要であると考えています。他にも見つけたら教えてください。

【担当課：環境政策課より】

ごみのないきれいなまちづくりを目指し、環境清掃里親制度*などの環境美化活動や啓発活動を行っています。

※環境清掃里親制度とは…

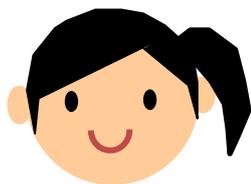
公共施設を「養子」と見立てて、市民の皆さんが「里親」となり、愛情をもって環境美化する活動のことです。周南市では、団体・グループ・企業で、年間4回以上の清掃美化活動を行っていただき、市がゴミ袋の支給やボランティア活動保険の加入等をサポートしています。

【担当課：道路課より】

国道・県道・市道とも中央分離帯等の清掃は、定期的を実施しています。しかし、それでも十分とは言えないのが現状かもしれません。ゴミ等が多くなるような場合は、連絡いただければ、随時、各道路管理者にお願いをします。



～チームゼロ～



- 以下の3つを市で行ったらどうでしょうか。
- (1) 徳山駅にカメラ台やベンチをつくること
 - (2) 徳山動物園北側駐車場などに夜景が見渡せる展望台を設置すること
 - (3) 徳山駅の中に産業記念館をつくり、どこコンビナートで何をつくっているのかわかるようにすること

木村市長の答弁

非常に良い意見です。展望台設置については、どれくらいお金がかかり、どういう効果があるのかをよく考えて検討したいと思います。産業記念館という施設にするか、コーナーをつくるか、市民に知らせていくのか、周南市を訪れる方に知らせていくか、検討の余地があります。貴重な提言として受け止めます。



経済産業部長の答弁

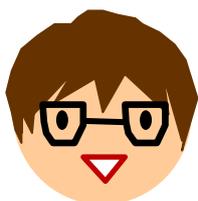
徳山動物園の園内が見渡せる展望デッキであれば、北も南も見渡せて動物を上から眺められるものとして「虹の架け橋」を想定していましたが、コンビナートの夜景の見える展望台ということであれば、今後の課題ということで研究させていただきます。

【担当課：中心市街地整備課より】

徳山駅ビルの屋上に展望台の整備を行います。また、県が建設予定のポートビルにも、市から展望台を設置するよう要望します。

現在も、コンビナート等のPRを行っていますが、新駅ビルの整備が進む中、どのような方法でPRするのが良いか、今後検討していきます。

～チームSKG～



公園の見通しを良くして、街灯を増やして欲しいです。
また、不審者がいた時にすぐに助けが呼べるように、警察に直接つながる非常ベルを付けて欲しいです。

木村市長の答弁

公園の見通しについては、公園の安全基準を設けて対応しています。不審者がいた時に、すぐに駆けつける大人も必要です。



都市整備部長の答弁

公園の見通しについては、公園の安全基準に基づいて最低でも年に1回点検しています。遊具は、全ての公園について2か月に1回点検しています。今後も、まわりから見えやすく、使いやすい公園にしていきます。

環境生活部長の答弁

防犯灯については、それを管理している自治会に対して補助金を出し、より明るいLED化を進めています。警察に直接つながるスーパー防犯灯は、購入に1本200万～1000万円、年間20万円の維持管理費がかかります。また、いたずらが多いです。この点などを考えながら、安心して暮らせるまちにしていきたいと思います。

【公園担当：公園花とみどり課より】

公園は、都市公園法や都市公園条例に基づき管理・運用を行っています。
公園の樹木が成長し、公園の内側や外側からの見通しが確保できないような場合は、高木の下枝を切ったり、低木の刈込みを行い、見通しができるようにしています。こうすることによって、公園が明るくなり犯罪の予防にもつながります。

また、遊具についても2か月毎に点検を行い、その結果により、補修や修繕を行うなど、事故の予防を行っています。

今後も、公園を利用する人が安全・安心して利用できるように、維持管理を進めます。

【安全対策担当：生活安全課より】

引き続き、防犯灯のLED化を進めるとともに、市内で活動する防犯団体組織や警察と連携し「安全で安心なまちづくり」を推進していきます。



こども110番の家を増やすこと、こども110番の家がどこにあるのか子ども達にわかるようにマップを作ることに取り組みたいです。

木村市長の答弁

安心安全に暮らせることは、とても大切なことです。こども110番の家を増やすことやマップを作ることも大切ですが、家に行っても留守であったり、店が休みの場合もあります。だからこそ、地域全体で見守りができるような地域づくりが、より大切となります。



【担当課：こども家庭課より】

現在、周南市では、地域全体で子どもを見守り育てる地域づくりの一つとして、周南市青少年育成市民会議（＝市民会議）と一緒に、各地域の青少年健全育成活動を支援しています。

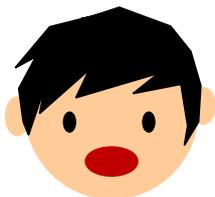
市民会議は、あいさつ運動や子どもの見守り活動を「地域のおじさんおばさん運動」として行っており、のぼり旗やその旗を立てるためのポールを無料で提供したり、見守り活動に必要な物品の紹介をするなどの活動支援を行っています。

市民会議による調査の報告によると、平成26年4月現在では、市内に登録のあるこども110番の家は1,090件です。登録や管理の方法は、各地域でそれぞれ違います。

また、市内の全小学校では、地域安全マップなどの校区内マップを作成し、活用しています（作成方法や更新する頻度は学校により違います）。市民会議では、マップを作成する時の情報提供・物品（デジカメ・DVD・消耗品）の貸出・指導者の派遣を行い、マップを作成するための支援を行っています。



～エレガント オフ エレガントチーム～



分別して捨てられるごみ箱を道路に設置し、ポイ捨て禁止のポスターを作って、その周囲に掲示してほしいです。

また、効果が出ないところについては、防犯カメラを付けて、ポイ捨てやごみの分別をしない人などを防いでほしいです。

木村市長の答弁

ごみ箱を設置して、それをチェックすることも一つの手段です。また、ごみを持ち帰ることで、永源山公園のようにごみ箱がなくても非常にきれいな状態を保つこともできます。他にも、いろいろな条例をつくってまちをきれいに保っています。

また、今年度は「もやいで進めるきれいなまちづくり推進事業」を進めており、市の職員が率先して活動しています。各地域でも、市民を巻き込んでまちをきれいにしていこうという運動につながっています。ごみを捨てる人が恥ずかしくなるようなまちになったら良いですね。



環境生活部長の答弁

ポイ捨てをしないというのが、きれいなまちのはじまりです。

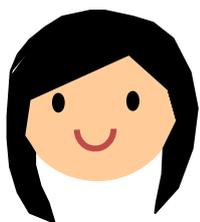
分別するごみ箱や防犯カメラの設置の前に、ポイ捨てをしないという意識を市民全体に持っていただきたいです。もやいで進めるきれいなまちづくり推進事業については、努力している地区の取組みをモデルとして市内全体で共有し、地区ごとに自分達で出来る方向を考えていくことを推進しています。

市役所でも、市役所周辺を職員が率先してきれいに掃除しています。

分別については、面倒だと思いかもしれませんが、分ければ資源として有効に活用されるということを分かってもらえるよう周知に努めていきたいと考えています。

【環境政策課】

防犯カメラについては、現状では設置は考えておりません。引き続きパトロールを行い、ポイ捨て防止に努めていきます。



ポイ捨てをやめようというポスターを作ってみるのはいかがでしょうか。

木村市長の答弁

みんながいろいろな方法でポイ捨て防止を訴える必要があります。ポスターを是非作ってもらいたいです。



【環境政策課】

「ポイ捨て禁止のポスター」については、市内の小学校に対して公募を予定しています。現在、平成 27 年度予算に計上し、予算査定中です。今後は、ポスターによる啓発を行っていきたいと考えています。



～追加質問～



旧熊毛町や旧鹿野町に使われていない田畑が多いと思います。
その解決策として、無職の人や定年退職をした人と協力して、野菜などを生産し道の駅などで売り、その売り上げは市や生産者で分けられるようにしてはどうでしょうか。

木村市長の答弁

素晴らしい考えです。今、農業は後継者・従事者がおらず、田畑が荒れていくことが大きな問題となっています。田畑を働けるという人に提供し、いろいろな農作物を生産し、地域の中でお金を循環させる。そういう仕組みを市の方でも考え、経済の循環に取り組んでいきたいと思っています。良いお知恵があれば教えてください。



【担当課：農林課より】

これまで市では、農業の後継者を確保するため、関係機関と一緒に

- ①農業をしたいと希望する人に対しての相談会の開催
- ②農業生産の組合等を設立しようとする人の支援
- ③農業を始めた直後に必要となる機械・施設を整備するための支援

などの施策を行っています。

ご提言の使われていない田畑の活用については、これまでの施策を継続しながら、新たに農業をしようとする人や農業生産の組合等だけではなく

- ①農業以外の企業
- ②定年退職された人
- ③生きがいのために農業をしようとする人
- ④農業をする人に対してボランティアで援助する人

など、農業をしよう、したいと考えている人たちの意見を聞いたり、声掛けをしながら、関係機関と協力して、使われていない農地の情報や提供をしていきたいと考えています。また、生産された農作物の販売についても、これまでと同様に、道の駅ソレーネ周南や直売所などに出荷していただけるよう支援をしていきたいと考えています。



ゆめ風車は、日本最大級でオランダ産であることが分かりました。ゆめ風車のことをもっとアピールすべきではないでしょうか。

木村市長の答弁

姉妹都市のオランダのデルフザイル市に行ってゆめ風車と一緒に風車を見ました。当時は、いろんな工夫をしながらゆめ風車ができあがっています。もっと広く周知していく必要があると思います。

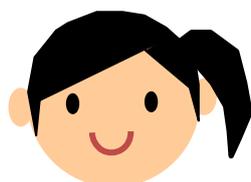


新南陽総合支所長の答弁

ゆめ風車は、周南市を代表する観光スポットです。10月には永源山公園でイベントもあるので、ご近所や学校のみなさんにもどんどんPRしてほしいです。

【観光交流課】

ゆめ風車は、周南市の観光スポットとして市内外から多くの人を訪れる重要な観光地です。今後はさらに、ゆめ風車がある永源山公園を中心に開催されるイベントなどを通じて積極的にPRしていきます。



大阪や東京などの都市部に、周南市を発信する情報局をつくったら少しでも都会の方々を誘致できるのではないのでしょうか。

木村市長の答弁

周南市もシティセールスに取り組みなければならないと思っています。現在は、周南市の事務所を東京や大阪などの都市部に設置することは想定していませんが、どのように発信していくかは考えていく予定です。

山口県の東京事務所と大阪事務所と連携しながら、周南市を売り出していこうと考えています。



【担当課：観光交流課より】

山口県が東京日本橋に「おいでませ山口館」を出店しており、そこで周南市も市の特産品の販売や観光情報を積極的に発信しています。今後も、観光PRキャンペーン等を通じて周南市の魅力を発信していきます。

